施策評価シート（ 令和2　年度の振り返り、総括）

作成日	令和3 年　04月　12日

施策 No.	1	施策名	確かな学力の育成
主管課名	学校教育課	電話番号	0285-81-9052
関係課名	学校教育課、科学教育センター		

1. 計画（Plan）

施策の対象	市内の義務教育課程の児童生徒						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
児童生徒数	人	6,638					

施策の目標	すべての小中学校で、電子黒板やタブレット、デジタル教科書等のICT機器を活用した授業を展開し、学力の向上を図ります。 また、指導する教員は、校務支援システムの活用等により働き方改革を進めることで、子どもに向き合う時間を確保し、教育の質を高めます。
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	・児童生徒の学習の定着度をはかるため、とちぎっ子学習状況調査の教科合計平均正答率の県と真岡市との比較差の数値を使用する。 ・小中学校におけるICT機器の活用状況をはかるため、「真岡市ICT教育基本構想」に基づくICT機器導入率等を使用する。

成果指標名		単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
小5　とちぎっ子学習状況調査における3教科合計平均正答率の県との差（国語、算数、理科）	目標値	ポイント	+0.2	+0.3	+0.4	+0.5	+0.6	+0.7	+0.7
	実績値			実施無					
中2　とちぎっ子学習状況調査における5教科合計平均正答率の県との差（国語、社会、理科、数学、英語）	目標値	ポイント	+0.8	+0.9	+1.0	+1.1	+1.2	+1.3	+1.3
	実績値			実施無					
学習用PCの導入率	目標値	人／台	6.2	1	1	1	1	1	1(1人1台)
	実績値			1					
電子黒板の導入率	目標値	%	普通教室・理科室100%、特別支援教室71.4%	普通教室・理科室100%、特別支援教室78.6%	普通教室・理科室100%、特別支援教室85.8%	普通教室・理科室100%、特別支援教室92.9%	普通教室、特別支援教室、理科室100%	普通教室、特別支援教室、理科室100%	普通教室、特別支援教室、理科室100%(各1台)
	実績値			普通教室・理科室100%、特別支援教室73%					
ICT支援員の配置	目標値	回／月	4(ICTモデル校)	3(全小中学校)	3(全小中学校)	3(全小中学校)	4(全小中学校)	4(全小中学校)	4(全小中学校)
	実績値			2.6(全小中学校)					
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民は、学校・家庭・地域と連携して、人間性豊かな子どもを育成する。 行政は、学力向上を図るための教育環境の整備を推進する。

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、とちぎっ子学習状況調査が実施されなかったため、学力に関する成果指標の実績値を把握することができなかった。

参考として、令和元年度の実績は以下のとおり
・小5　とちぎっ子学習状況調査における3教科合計平均正答率の県との差：-0.8ポイント
・中2　とちぎっ子学習状況調査における5教科合計平均正答率の県との差：+2.34ポイント
であった。小学校5年生については目標値を下回っているが、中学校2年生については大きく上回っており、学力向上についての取組の成果が見られる。

ICT機器の整備については、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策において児童生徒1人1台端末の整備スケジュールの加速化が示されたことに伴い、令和2年度末までに1人1台のタブレット整備を完了させた。電子黒板については、普通教室・理科室について全教室に配備を完了しており、今後は特別支援教室への配備を進める。ICT支援員の配置についても、1人1台端末の配備に伴い全校へ対象を広げ、年間32回（月平均2.6回）の支援を実施した。

学力向上に向けた令和2年度の取組状況は以下のとおり
・児童生徒1人1人の個性を伸ばし、学習効果を高めるため、複数担任制のための非常勤職員を小・中学校全校に配置している。
・真岡市学力向上推進研修会や教員研修会を開催し、各学校の検証改善サイクルの構築と教職員の資質・能力の向上を図った。
・「教職2～4年目教員支援事業」「学力向上指導員派遣事業」「魅力ある学校づくり事業」等での学校訪問を通して、授業改善に対する助言を個別に行った。
・英語の専科教員を小学校5校、算数等の専科教員を小学校3校に配置している。
・科学教育センターでは、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、センターでの理科学習は行わなかった。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休校中、児童生徒の家庭学習を支援するため、教科書の内容に沿った動画配信および、ネットワーク環境が悪く動画が見られない児童に対しての学習プリントの作成を行った。
・学校再開後は、科学教育センター指導主事が学校に赴いて理科授業支援を行った。また、教材器具の貸出及び搬出搬入、自作教材や理科学習指導資料集等を配布し、学校の理科学習環境の整備を図るとともに児童生徒に対し理科への興味・関心を高めるための取組を行った。
・学校図書館の充実と児童の読書活動の推進を図るため、全ての小中学校に6名の専任司書を巡回配置し、読書教育の質的な向上に取り組んだ。

令和2年度全国学力・学習状況調査及びとちぎっ子学習状況調査、真岡市総合学力調査が実施されなかったため、令和3年度の調査結果を詳細に分析し、学習の定着度をはかるとともに、学力向上に向けた取組について検討する必要がある。また、配備した1人1台端末のさらなる活用に向けて、高速大容量の通信ネットワークを整備した上で、効果的な活用方法の研究、ICT活用に関する教員のスキル向上を推進し、さらなる学力向上を図っていく必要がある。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

令和3年度の全国学力・学習状況調査及びとちぎっ子学習状況調査、真岡市総合学力調査の結果について調査分析し、その結果のフォローアップを重視することで、確かな学力の定着を図り、学力の向上を目指していく。また、学力向上推進研修会や指導主事の学校訪問による授業支援等を行い、教職員の指導力向上を図るとともに、複数担任制のための非常勤職員を配置し、個別指導の充実に取り組むことで、児童生徒の学力向上を図る。

令和3年度からは、事業変更により、科学教育センターでの理科学習は行わず、学校での理科授業の充実と教科担任制に向けて、指導主事を学校に派遣し、理科担当者研修事業を実施する。この事業は、理科担当教員の資質向上と小学校の理科専科教員の育成を図るものである。また、社会科見学の一施設としてプラネタリウムを見学する場合、学校の希望により、理科学習の内容に沿った投影を行う。（学習投影）

ICTを活用した学校教育の推進については、ICT教育推進校とICT導入重点校を指定し、1人1台端末の効果的な活用方法を研究すると同時に、ICT活用に関する教員のスキル向上を図っていく。特に、1人1台端末を効果的に活用した「個別最適化された学習」や主体的・対話的で深い学びを実現するための手法を研究するため、外部有識者を招いた教員研修等の実施や、ICT支援員との連携の強化を図る。今後は1人1台端末のさらなる活用に向けて高速大容量の通信ネットワークを整備し、児童生徒個々の特徴や実態に合わせた、個別最適化された学習を実現し、資質・能力を一層確実に育成することで、さらなる学力向上を図っていく。また、校務支援システム等の活用により、教職員の業務効率化を図り、教員が子どもと向き合う時間を確保し、教育の質的向上を図る。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和2 年度実績	今後の方向性
1		真岡市総合学力調査事業	学校教育課教育政策係	児童受験者数（延べ人数）	人	2956	現状維持
				生徒受験者数（延べ人数）	人	1498	現状維持
2	総重	学力向上推進事業	学校教育課指導係	研修会後アンケート高評価の割合	%	99.0	現状維持
				小5とちぎっ子学習状況調査3教科合計平均正答率の県との差	ポイント	-	現状維持
				中2とちぎっ子学習状況調査５教科合計平均正答率の県との差	ポイント	-	現状維持
3	総重	理科実験・天体学習指導事業	科学教育センター科学教育センター	学習内容を理解したと答えた小学生の割合	%	ー	事業のやり方改善
				学習内容を理解したと答えた中学生の割合	%	ー	事業のやり方改善
				学習のねらいが達成できたと答えた小学校教員の割合	%	ー	事業のやり方改善
				学習のねらいが達成できたと答えた中学校教員の割合	%	ー	事業のやり方改善
				特に力をつけたい学習内容の正答率	%	ー	事業のやり方改善
4	総重/戦拡	ICTを活用した学校教育の推進事業	学校教育課情報教育推進係	PC1台当たりの児童数	人	1.07	現状維持
				学力状況調査　県との差（小５）	ﾎﾟｲﾝﾄ	-	現状維持
				学力状況調査　県との差（中２）	ﾎﾟｲﾝﾄ	-	現状維持
5		複数担任制のための非常勤職員配置事業	学校教育課総務係	学習支援を受けた児童	人	4,381	現状維持
				学習支援を受けた生徒	人	2,253	現状維持
6		学校図書館専任司書配置事業	学校教育課総務係	学校図書館の充実が図られた学校数	校	23	現状維持
				貸出冊数	冊	118873	現状維持
				利用者数	人	161993	現状維持
7		マイチャレンジ推進事業	学校教育課学校教育課　指導係	体験活動により共に生きる力や感謝の心が育まれた中学２年生の数	人	0	現状維持
8		コミュニティスクール推進事業	学校教育課教育政策係	学校運営協議会を設置した学校の数	校	0	予算増大
				学校運営協議会設立準備委員会開催回数	回	0	予算増大
9		学校施設管理事業	学校教育課施設係	小学校修繕件数	件	174	現状維持
				中学校修繕件数	件	113	現状維持